

No. 1 リモートでの浄水場見学及び小学校におけるオンライン授業
（企業庁 愛知用水水道事務所 知多浄水場）

<p>現状把握</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 毎年、浄水場を一般公開し、地元の方に浄水場を見学いただくとともに、小学校の見学を受入れ、水道を学習していただいていたが、昨年度から、コロナウイルス感染防止のため、浄水場見学の全ての受入れを中止している。 ○ 浄水場で「水道を広報できる機会を失ったこと」、また、先生から「下水やゴミ処理場でも見学が中止されており、生徒の学習機会が阻害され、学習に支障が生じている。何とか見学できないか」などの問合せを受けてきた。
<p>目標 (何を、いつまでに、 どうするか)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ コロナ禍でも浄水場を見学できる手段を確立して、浄水場を見学いただくことで、「県民に水道への理解と信頼を深めてもらうこと」、「小学生に地域社会を支える水道について学んでもらうこと」により、地元から愛される浄水場を目指す。
<p>要因分析</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ リモートでの浄水場見学を可能とするため動画作成を企画した。動画は、大人でも小学生でも理解できる内容とするとともに、小学生の勉強に対するハードルを下げるため、「積極的に見たいと思える動画」とする必要がある。 ○ また、小学校の社会見学を動画のみとした場合、一方通行で受け身となり、実際の浄水場見学や職員との質疑応答で得られる実感が湧きにくい課題があった。
<p>対策立案 実施</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 当浄水場の水道水がどのように作られ、家庭まで送られているのかを小学生でも理解できる動画を職員が手作りで作成し、YouTube で公開した。 ○ 動画は、キャラクターのカッパ君とカッパちゃんが浄水場を案内し、ナレーターとして説明することで、小学生が積極的に見たいと思えるような構成にした。 ○ 小学校の社会見学として動画で浄水場を見学いただいた後に、疑問等をクラスで話し合ってもらい、後半で浄水場と小学校をオンラインで結び、浄水場職員と生徒で質疑応答を行うことで、より実感を深めてもらえるよう授業を企画した。
<p>取組効果 (その他のアピール ポイントを含む)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 動画は、YouTube で6月から公開し、1月時点の視聴回数は3,600回を超え、オンライン授業は、6小学校 14クラス 388名の生徒と実施でき、新聞などでの報道もあり、水道について広く県民の方にPRすることができた。 ○ 地域的に制約のある離島の学校とも、オンラインの特性を活かし授業できた。 ○ 質疑応答は、写真や動画で視覚的に説明することで、理解しやすい授業とした。 ○ 安全対策上、普段は見学できない施設もモニター上で説明できるため、実際の見学を超える効果も発揮できた。 ○ 実際の見学では、見学班ごとに質疑応答するため、他班の質疑応答は聞くことができないが、全クラスまとめたオンライン授業により、質疑応答も全員で共有でき、多くの視点で様々な認識を生徒に与えられるなど、オンライン授業ならではの効果を確認できた。
<p>今後の方向性 (標準化と 管理の定着)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「生徒が少ない、移動が困難等の理由から浄水場の見学はできないが、制約のないオンライン授業により、専門家から説明を受けられ、知識を実感として受取れた」、「子供たちの疑問を水のプロが答えてくれる場であることが、生徒の学ぶ意欲につながった」、「都合で見学できない場合もあり、選択肢としてオンライン授業を継続してほしい」など先生から高評価をいただいた。 ○ 見学で得られる実感は大きく、できれば実際に見学してほしいが、諸事情で浄水場を見学できない県民や学校も存在する。見学や授業について多様な選択肢を提供しサービスを充実させるため、動画の提供やオンライン授業を継続したい。

【取組内容（写真や図など）】

動画「知多浄水場の水道水が届くまで」

YouTube (https://www.youtube.com/watch?v=h5eQ_avqY8k&t=1s) 及び知多浄水場ホームページ (<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/aichi-suido/0000022502.html>) で公開



小学生でも理解できる内容とするため、試作段階で知多市の全ての小学校の先生に動画を見ていただき、意見を動画に反映



小学生が積極的に見たいと思えるような動画とするため、カッパ君とカッパちゃんが浄水場を案内し、ナレーターとして説明

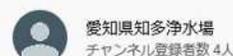
問題3
愛知県の水道管を全部足し合わせるなどのくらの長さになるでしょうか？

- ① 地球一周
 - ② 地球半周
 - ③ 日本の長さ
- 10

集中力を持続させるため、4題のクイズを入れ、休憩時間を設け、リフレッシュ

知多浄水場の水道水がとどくまで

3,617 回視聴・2021/05/27・



実験
浄水場

小学生でも理解しやすい構成とするため、ピーカー実験で水処理の仕組みを理解させた上で、浄水場での水処理を説明

オンライン授業

知多浄水場のホームページで申し込みを案内



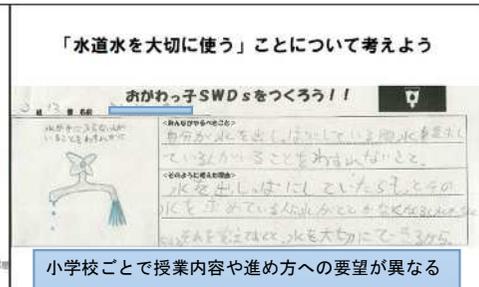
職員1名で、1学校全クラスまとめて授業できるため、職員の労力が削減



他クラスの質疑応答も全クラスで共有できるため、多くの視点や様々な認識を生徒に与えることができた



写真や動画で視覚的に説明し、理解できるように工夫

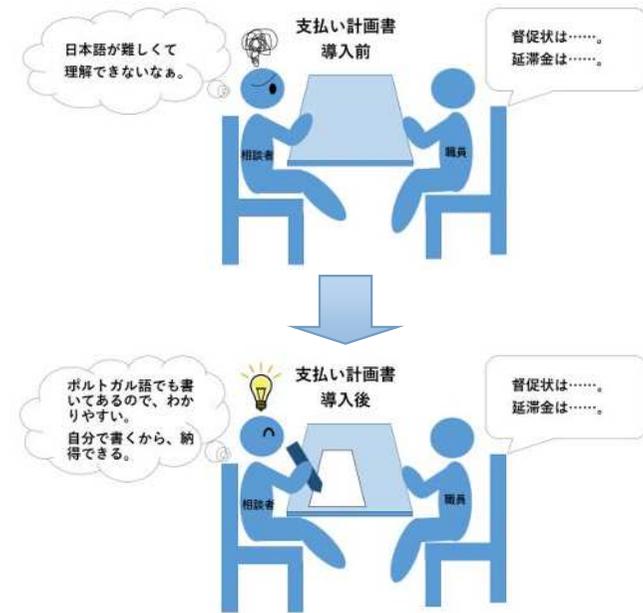


小学校ごとで授業内容や進め方への要望が異なるため、事前に学校と意見交換の上、小学校ごとの要望に寄り添った内容で授業を実施（SDGsに特化した授業）

No. 2 ポルトガル語による納税相談のためのフローチャート
 (総務局 豊田加茂県税事務所 徴収課)

<p>現状把握</p>	<ul style="list-style-type: none"> 2021年度の自動車税(種別割)の納税相談は、540件あった。そのうちブラジル国籍の納税者からの相談は330件で、相談全体の60%を占めている。 ブラジル国籍の納税者は、日常会話はある程度理解できるため、日本語で滞納状況や分納計画を説明するが、日本人と比較し2倍近くの時間が必要となる。 日本語での説明だけでは、分納方法、延滞金など重要な情報が十分に理解されず、計画的な納税に結びつかない。
<p>目標 (何を、いつまでに、 どうするか)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ブラジル国籍の納税者からの平均相談時間 35分を、日本人の平均相談時間 20分まで短縮する。 相談時に計画した納税約束の不履行件数の発生を 50%圧縮する。 <2021年度の例 不履行件数: 110/330件→55/330件にする。>
<p>要因分析</p>	<ul style="list-style-type: none"> ブラジル国籍の納税者は、日本語では税金に関する専門用語の理解が難しいため、口頭で納税計画を説明されても、理解できない。
<p>対策立案 実施</p>	<ol style="list-style-type: none"> 日本語・ポルトガル語併記の相談用シート「自動車税支払い計画書」を作成し、相談者と対応職員が情報を共有しながら、効率的に納税計画を立てられるようにした。 計画書は、外国籍の納税者でも税額から納税計画までを一目で理解できるよう、A3用紙1枚でフローチャート化した。 フローチャートは、相談者自身で書き込む様式とし、相談者が納税計画を理解し、納得できるようにした。 計画書を自宅に持ち帰ってもらうことで、納税忘れの防止を図るとともに、家族の理解を得られるようにした。
<p>取組効果 (その他のアピール ポイントを含む)</p>	<p>この計画書は自動車税定期課税後の5月から7月に使用することとなるため、取組効果は7月下旬以降に明らかになる。この取組は、以下の効果を見込んでいる。</p> <ol style="list-style-type: none"> ポルトガル語を併記することで、相談者は税金に関する専門用語を正しく理解することができ、また、職員は伝えるべき内容を漏れなく正確に伝えることができる。 A3用紙1枚でフローチャート化したことにより、相談者の理解が容易になり、相談時間が半減する。 相談者自身が計画書を記入し、納税計画を立てることで、計画的な納税が期待できる。 計画書を渡すことで、納税の動機付けが強まり、自主的な納税が期待できる。
<p>今後の方向性 (標準化と 管理の定着)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 自動車税定期課税後の5月から7月に、効果を検証する。 計画書を他の言語に翻訳することで、幅広い外国籍の納税者への対応が可能となり、他の県税事務所でも活用できる。 今回の計画書の素案作成にあたっては、2021年10月に税務課が導入した「多言語通訳サービス用タブレット」を使用した。今後、タブレットの翻訳機能や電話による同時通訳を併用することで、計画書の有効活用が期待できる。

【取組内容（写真や図など）】



自動車税 支払い計画書
Plano sobre o pagamento do imposto de automóvel

相談日 Data de consulta: _____	0 いつまでに納付できますか？ Até quando você pode efetuar o pagamento?																
車のナンバー Número de placa: _____	0 何回であれば納付できますか？ O número de parcelas do pagamento que você consegue pagar.																
0 あなたは納税義務者ですか？ Você é contribuinte? <input type="checkbox"/> はい Sim <input type="checkbox"/> いいえ Não																	
0 勤務先はどこですか？ Onde você trabalha?	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>車種 História do veículo</th> <th>納期限 Prazo</th> <th>納付金額 Valor</th> <th>延滞金 Multas por atraso</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>②</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>③</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	車種 História do veículo	納期限 Prazo	納付金額 Valor	延滞金 Multas por atraso	①				②				③			
車種 História do veículo		納期限 Prazo	納付金額 Valor	延滞金 Multas por atraso													
①																	
②																	
③																	
0 納料日はいつですか？ Quando é o dia do pagamento do seu salário?	0 注意事項 Atenção																
氏名 Nome: _____ 住所 Endereço: _____ 電話番号 Número de telefone: _____																	
0 納税額はどのくらいですか？ Quanto é o valor do imposto?	1 延滞金がつくことがあります。 Há possibilidade de ser adicionado o valor da multa por atraso. 2 7月に、督促状が届きます。 Você receberá a carta de aviso de cobrança em julho. 3 期限内に納付できない場合は、必ず電話してください。 Se você não conseguir pagar dentro do prazo, deve nos telefonar sem falta. 4 期限内に納付できない場合、あなたの財産が差し押さえられる可能性があります。 Se você não conseguir pagar dentro do prazo, seus bens poderão ser confiscados.																

No. 3 イベント周知の紙チラシ削減
 (環境局 環境政策部 水大気環境課 生活環境地盤対策室 三河湾環境再生グループ)

<p>現状把握</p>	<p>愛知県では毎年様々なイベントが開催され、主催者等として県が関わるイベントでは広報業務を行う必要がある。従来、広報業務では大量の紙チラシを関係各所へ広く郵送していた。そのため、多くの紙資源や郵送代金が必要となることに加え、印刷や発送作業などで職員の手間が多くなり、年間でいくつものイベントに関わっている中で大きな負担となっており、その負担の割に効果が限定されていた。</p>
<p>目標 (何を、いつまでに、どうするか)</p>	<p>紙印刷するチラシを可能な限り削減し、ターゲットを明確化することで紙チラシの郵送先をできるだけ絞り込むが、効率的かつ効果的に届けることでイベントの開催情報が広くしっかり周知される。</p>
<p>要因分析</p>	<p>印刷するチラシを見てイベント情報に関心を持ってもらえるのは、近隣施設に立ち寄られた方であると予想を立て、地元地域にターゲットを絞り、紙チラシを配布することで、効果的に情報を届けられるのではと考えられる。 また、近年のスマートフォンの普及やSNSの利用拡大等により、人々の情報収集動向の意識が変化していると予想され、印刷物以外にこういった技術をうまく活用していく方が、現代の人々がもっと身近で気軽に触れられるのではと考えられる。</p>
<p>対策立案 実施</p>	<p>イベント開催の広報で、情報政策課が運営する県のホームページ（ワクワクあいち）と県の公式LINEアカウントを新たに活用した上で、チラシの印刷部数を従来の約4分の1に削減した。 また、県内の各図書館や公共施設等へチラシを広く個別郵送していたやり方から、開催地の近隣市町村の役所に郵送先を集約し、地域住民が来てチラシを手に取りやすいところに配置するよう依頼するやり方に変更した。</p>
<p>取組効果 (その他のアピールポイントを含む)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 印刷経費及び発送経費の削減 チラシを1,200枚から300枚に削減→15円/枚×900枚≒13,000円節減 郵送を94通から12通へ集約→120円/通×82通≒10,000円節減 イベント1つにつき、約23,000円の経費削減効果 印刷時間及び郵送の仕分け・宛名書き・封入作業時間の短縮 チラシを1,200枚から300枚に削減→約3秒/枚×900枚≒45分短縮 郵送を94通から12通へ集約→約3分/通×82通≒245分 イベント1つにつき、約5時間の時間短縮効果 イベントの開催情報がこれまで以上に広く周知された。募集型のイベント申込み件数は、前回開催したときの2倍以上の応募実績となった。また、参加者にイベントを知ったきっかけについてアンケート調査を実施したところ、約8割がホームページかSNSを見たからと回答した。改めてインターネットを活用した広報がとても有効であると分かり、この方法は様々なイベント情報を収集したいと思う県民へのサービス向上に著しい効果が期待できる。

今後の方向性
(標準化と管理の定着)

本県の「愛知県庁の環境保全のための行動計画（あいちエコスタンダード）」で用紙購入量の削減が重点取り組みとなっており、行政が率先して行動する必要がある。チラシの配布方法に無駄がないかよく検証し、紙チラシを効率的に運用することで、印刷に使う用紙量が大幅に削減され、作業時間の短縮につながることを確認できた。
 今後イベントの広報を行う時に、引き続きイベント情報を県のホームページと県の公式LINEアカウントに掲載し、併せてチラシ印刷の削減と、郵送先の集約を行うことで、ペーパーレス化を進め、その取組の効果を情報発信していきたい。

【取組内容（写真や図など）】

【ワクワクあいちの掲載】



【公式LINEアカウントの掲載】



【参加者のアンケート調査結果】

このイベントを何で知りましたか？(大人)



No. 4 パルスオキシメーターの貸出台帳の作成
(保健医療局 春日井保健所 食品安全課 広域機動グループ)

<p>現状把握</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の自宅療養者向けに、パルスオキシメーター（酸素飽和度を測定する機械）を郵送等で貸出している。また、返却されない方へ催促を行っている。</p> <p>このパルスオキシメーターの管理は、紙に借受者の情報を記載していたが、第5波の際に、所管するパルスオキシメーターが300台を超え、延800台以上を貸出したため、紙での管理が困難となっていた。</p>
<p>目標 (何を、いつまでに、 どうするか)</p>	<p>パルスオキシメーターの台帳を電子化し、管理を簡便にする。</p> <p>また、多い時には1日に約30台を貸出しており、3時間程度かかっていたことから所要時間を半分程度にする。</p>
<p>要因分析</p>	<p>紙による管理では借受者の情報（氏名、住所、パルスオキシメーターの管理番号等）を記載していたが、検索等ができず管理が困難になっていた。</p> <p>また、以下のパルスオキシメーターの貸出にかかる3点及び台帳の電子化にかかる1点の課題を解決する必要があった。</p> <p>課題1：住所は分かるが、郵便番号が分からないため、調べるのに時間がかかる。</p> <p>課題2：郵送用の情報を手書きすると誤記入や時間がかかる。</p> <p>課題3：パルスオキシメーターが返却されないものが散見される。</p> <p>課題4：電子データにすると、個々の入力データを誤消去する可能性がある。</p>
<p>対策立案 実施</p>	<p>Excelでの管理を行い、借受者の情報を検索できるようにした。</p> <p>また、課題を解決できるように、以下のとおり数式、VBA（プログラミング機能）及びピボットテーブルを利用した機能を追加した。</p> <p>機能1：住所→郵便番号、郵便番号→住所を変換できるVBAを作成した。</p> <p>機能2：通し番号を指定するとラベルシートに印刷できるように数式を作成した。</p> <p>機能3：未返却一覧を作成できるようにした。</p> <p>機能4：電子データを誤消去防止のため入力事項を保護し、保護した事項を消去するための機能を作成した。また、バックアップを瞬時に作成できるようにした。</p>
<p>取組効果 (その他のアピールポイントを含む)</p>	<p>パルスオキシメーターを約30台貸出するには、郵便番号の検索等を含め3時間程度要していた。これが、台帳を電子化することで郵便番号の検索を不要にし、住所印刷をできるようにしたこと等から、所要時間は約1/3の30台で1時間程度にまで短縮できた。</p> <p>また、報道によると、未返却率が25%となっている自治体もあるが、当保健所では、未返却リストを作成し、効率的に返却の催促を行ったため、現在未返却率は7%程度にすることができた。</p>
<p>今後の方向性 (標準化と 管理の定着)</p>	<p>パルスオキシメーターの貸出は、借受者の安全安心のためにも迅速に行う必要がある。また、数に限りがあるため、返却されない場合は催促を行い、次に利用したい方に確実に届ける必要がある。</p> <p>今後も貸出の課題を見つけ、できるだけ迅速に貸出できるように取り組みたい。</p>

【取組内容（写真や図など）】

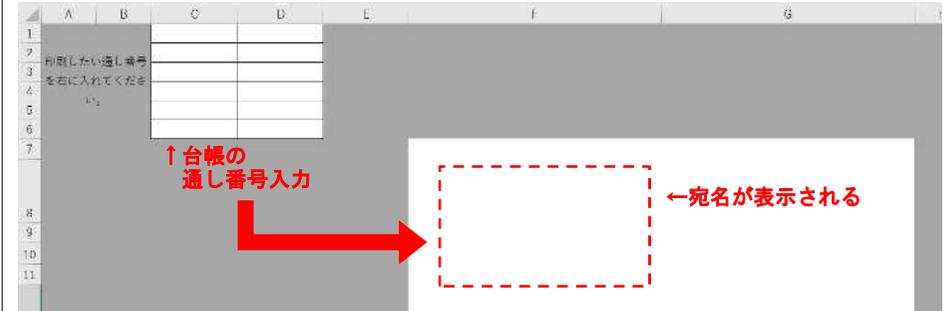
「貸出台帳入力」シート

機能1：住所⇄郵便番号を変換、台帳への書込



「ラベル作成」シート

機能2：通し番号を入力し、ラベルシートを作成



「未返却リスト」シート

機能3：未返却一覧の作成



「パルス台帳」シート

機能4：誤消去防止のための保護機能、保護した事項の消去機能、バックアップ作成



No. 5 リモート水温監視システムの試作

（経済産業局 あいち産業科学技術総合センター 尾張繊維技術センター 機能加工室）

<p>現状把握</p>	<p>尾張繊維技術センターでは、企業からの依頼により、各種の材料・製品の試験、分析、測定などを行っている。その1つであるキセノン試験機（以下、試験機）は、太陽光の代わりとなるキセノン光・温度・湿度などの必要な条件を設定し、その環境下で、平日休日にかかわらず24時間、所定の時間を連続で稼働させ、製品や材料の劣化を促進させる試験であり、繊維製品、プラスチック製品などを取り扱うさまざまな県内企業から高い頻度で試験の依頼を受けている。</p> <p>試験機は、夏場の気温が高い時間帯に、冷却水温度異常警報が鳴って、停止することがあり、試験機の運転状況が現場でしか確認できないため、平日の勤務時間帯に停止した場合は、それに気づいてすぐ再稼働できるが、休日に停止した場合は、再稼働が休日明けとなり、中断による無駄な時間が発生することがあった。そのため、夏場の気温が高くなる時期は、こうした無駄な停止を少しでも減らすよう短時間ではあるが出勤していた。</p>
<p>目標 （何を、いつまでに、 どうするか）</p>	<p>遠隔で試験機の運転状況をリアルタイムに把握できれば、より早く試験機の停止に気づくことができ、試験機の無駄な停止時間を減らすことができる。</p>
<p>要因分析</p>	<p>試験機がスタンドアロン（インターネット等に接続されていない）のため、試験機を現場で目視確認しないと試験機の運転状況を把握できない。</p>
<p>対策立案 実施</p>	<p>試験機に水温センサとマイコンを設置して、冷却水の温度を計測し、インターネット経由で、いつでもどこからでも、所属で承認を得たスマートフォン及びアプリを使って、試験機の冷却水の温度を確認できるシステム（以下、システム）を試作した。本システムの運用にあたっては、所内で必要な運用規程を整え、情報セキュリティポリシーを遵守した。</p>
<p>取組効果 （その他のアピール ポイントを含む）</p>	<p>改善後は、キセノン試験の担当者が、夏場の気温が高い時間帯に、スマートフォンのアプリの水温表示を気にかけて、冷却水温に異常があった場合のみ、出勤して点検及び再稼働することとした。この運用方法で、休日の無駄な出勤を減らすことができ、大幅な働き方改革ができる。</p> <p>今年の夏は、休日出勤10日のうち、試験機が停止しており再稼働させたのは5日であったため、残りの5日の出勤は不要となる。</p> <p>冷却水温度異常以外の原因で試験機が停止した場合も、同様に冷却水温から判断して再稼働させればよいいため、試験機の停止時間短縮にも大いに貢献する。</p> <p>インターネット環境とスマートフォンがあれば、数千円でシステムを試作できる。</p>
<p>今後の方向性 （標準化と 管理の定着）</p>	<p>水温だけでなく、工場の機械等にも取り付けられるため、地元企業から温度管理のニーズがあれば本システムを展開したい。</p>

【取組内容（写真や図など）】

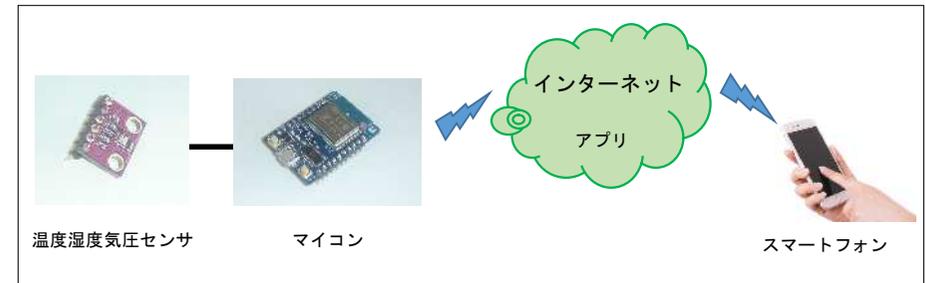
キセノン試験機への
設置状況



スマートフォン画面
（アプリで温度湿度気圧を表示）



システム構成



No. 6 多機能型表示旗
(警察本部 地域部 自動車警ら隊)

<p>現状把握</p>	<p>愛知県警では、発生する各種事案に適切に対応するため、現場に必要な資機材を常に各車両に積載し、現場臨場を徹底している。</p>
<p>目標 (何を、いつまでに、 どうするか)</p>	<p>各種事案に活用できる多機能な表示旗があれば、車載品を減少し、迅速な資機材の準備、現場臨場、各種事故を防止するとともに、県民の安全安心に繋げる。</p>
<p>要因分析</p>	<p>現状として、既成品の停止旗（「止まれ」という表示）、合図・誘導灯等の資機材では、実際に警察官が対応している現場が交通事故現場であることなどを、視覚的に県民が理解することは困難である。</p>
<p>対策立案 実施</p>	<p>旗の形状、表示内容等を改善し、視覚的に警察活動の内容が分かる多機能型の表示旗を開発した。</p>
<p>取組効果 (その他のアピール ポイントを含む)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1本の旗で、「止まれ」、「交通事故処理中」、「動くとタイヤがパンクします」という3つの注意喚起を表示することができる。 ・ 旗部分に取り付けたマジックテープにより、旗を半分に折り畳むことを可能とし手持ち旗である停止を求める旗（「止まれ」として使用することができる。 ・ 旗の上下に磁石を取り付けたことで、車両トランク部に張り付けて使用することもできる。「交通事故処理中」と表示することで、より効果的に走行車両等に注意喚起を図ることができ、第2の事故の発生を防ぐことができる。 ・ 車両強制停止装置を使用する場合、「動くとタイヤがパンクします」と記載された表示面を明確に提示することができる。
<p>今後の方向性 (標準化と 管理の定着)</p>	<p>各種事案発生時に、事故防止に配慮しながら、適切に対応できることから、今後、関係部署の承認を得るなどして、全警察署への導入を検討していく。</p>

【取組内容（写真や図など）】



【使用方法】



- 1 交通事故処理時は、旗の上部及び下部に設置された磁石を利用し、トランク部分に貼付し、使用する。
- 2 交通取締り時は、半分に折り畳み停止旗として使用する。
- 3 車両強制停止資機材使用時は車両前方(受傷しない場所)で、運転手に注意喚起することができる。